

ティール&ホワイトリボンプロジェクト 大学生に向けた、動画による 子宮頸がん検診啓発の取り組み

子宮頸がん疾患啓発
ティール&ホワイトリボン
プロジェクト（以下、TWR）では、「デジタル・サイネージ」を活用し、大学生に向けて子宮頸がん検診の啓発を、2月14日（金）まで全国の大学内で実施しています。

「デジタル・サイネージ」は、例えば身近なところでは、JR東日本山手線車内のドア上の「トレイン・チャネル」や、病院の待合室に設置したモニターにワンポイント広告や情報が流されているもので、待ち時間に効果的に情報を伝えるツールとして、近年、活用され始めています。



動画は子宮頸がん検診を身近に感じてもらうように、大学生3名が婦人科を訪ねるストーリーに

ところで皆さんは大学に

設置が進む「タダコピー」をご存知ですか。コピー用紙の裏面に、企業などからの広告を印刷して学生への宣伝効果を狙う代わりに、コピー利用料は無料。タダ、というビジネスモデルです。TWRは、学年末テストに向けた大量コピー需要

を見込み、この「タダコピー」コピー機に付随して設置されているデジタル・サイネージを活用し、12月15日～2月14日（金）まで、全国56大学、67台のサイネージで約2分間の子宮頸がん啓発動画を随時、流しています。

今回の啓発は、この「タダコピー」サービスを立ち上げ、運営している大学生発ベンチャー企業の株式会社オーシャナイズと協働し、女子大学生に婦人科を身近に感じてもらう、検診への

今井愛院長に検診の仕組みについて教わっている撮影風景



バリアをなくすことを目的に、大学生の視点から動画のシナリオを構成しました。

動画の撮影・取材は、C N Jのアドバイザリーボードとして、日頃よりご協力・ご指導いただいている社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長の上坊敏子先生のご紹介により、麻布十番まなみクリニックの今井愛院長にご協力をいただきました。若い女性の心に訴え、行動変容に繋がることを期待しています。



タダコピーのコピー機に設置されているデジタル・サイネージ ※画像はイメージ